

シーン - 6 せせらぎ水路小水力発電普及推進事業

事業目的

農業用ダム・水路などの農業用水利施設には、小規模水力発電の可能性がありながら、未利用の施設が数多くあると考えられている。

水力発電は、純国産の再生可能なエネルギーであり、CO₂を発生しないクリーンなエネルギーであるが、本県における農業用水を活用したマイクロ発電施設(100kw以下)については、設置実績は1件のみである。

現在、その普及拡大が課題となっていることから、低コストで最適な整備手法を早期に確立することを目的に、モデル施設整備、効果検証を実施するもの。

また、県内の農業用水利施設において小水力発電施設の導入可能性調査を行い、小水力発電の普及促進に活用するもの。

事業効果

CO₂年削減効果

26.5t-CO₂

事業内容

平成25年度事業費 40,000千円(うち税充当 26,500千円)

事業量 モデル施設整備(1箇所) 効果検証, 小水力発電施設導入可能性調査

実施主体 宮城県

内容 大崎市岩出山内川地区に小水力発電施設の整備を行うとともに、県内の農業用水利施設における小水力発電施設導入可能性調査を行います。



小水力発電施設設置例(山梨県都留市)

現状

未利用の農業用水路に…



税導入後のイメージ

小水力発電システムを設置し、普及のための整備手法を確立します。

